



”ずぼら調理”が招く危険

～トリセツをよく読んで「調理家電の事故」を防ぎましょう～
(東北版資料)

1. 事故の発生状況

2019年から2023年までの5年間で、NITEに通知があった製品事故情報^{※1}では、調理家電の事故が494件発生しており、そのうち東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)では17件の事故がありました。

被害状況は軽傷3件、拡大被害9件、製品破損4件、被害なし・不明1件となっております。



フライパンの少量の油から発火する様子
(再現実験)

表1 「調理家電の事故」の発生前別件数^{※2}

発生年度	発生県							合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
2019年	1[1]		1[1]	1[0]		1[1]	4[3]	
2020年			1[1]			1[1]	2[2]	
2021年			5[5]	1[1]		1[0]	7[6]	
2022年		1[1]	2[2]	1[1]			4[4]	
2023年							0	
合計	1[1]	1[1]	9[9]	3[2]	0	3[2]	17[15]	

表2 「調理家電の事故」の被害状況別発生件数^{※3}

被害状況	発生県							合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
人的被害	死亡						0	
	重傷						0	
	軽傷			2[2]			1[0]	3[2]
物的被害	拡大被害			6[6]	2[2]		1[1]	9[9]
	製品破損	1[1]	1[1]	1[1]			1[1]	4[4]
被害なし・不明					1[0]			1[0]
合計		1[1]	1[1]	9[9]	3[2]	0	3[2]	17[15]

表3 「調理家電の事故」の原因区分別発生件数

原因区分		発生県							合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの			2			1	3	
	B: 製品及び使い方に問題があったもの								
	C: 経年劣化によるもの		1					1	
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの			1	1		2	4	
	小計		1	3	1		3	8	
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの								
	E: 誤使用や不注意によるもの			2				2	
	F: その他製品に起因しないもの			1	1			2	
	小計			3	1			4	
その他	G1、G2:原因不明のもの	1		2				3	
	H: 調査中のもの			1	1			2	
	小計	1		3	1			5	
合計		1	1	9	3	0	3	17	

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含み、事故発生年月が不明なものを除きます。

(※2) []は火災件数。（内数）

(※3) []は火災件数。（内数）物的被害（拡大被害または製品破損）があった場合でも人的被害があったものは、人的被害に区分しています。

2. 主な事故事例

○ 2021年3月5日 電気オーブン（秋田県、年代不明女性）

事故内容：当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因：事故発生時、使用者は当該製品に調理済みの大きめのから揚げ1個を入れ、温度設定230℃でタイマーを50分程度にセットして外出していた。当該製品に出火の痕跡が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「必要以上に加熱しない。」、「調理中に本体から離れない。」、「調理時間の目安として唐揚げ（300g）は8～10分で調理する。」旨、記載されている。

○ 2021年5月29日 電気こんろ（ラジエントヒーター式）（宮城県、年齢性別不明）

事故内容：電気こんろの上に置いていた樹脂製品が焼損した。

事故原因：未使用のヒーター上に樹脂製容器を置いていたため、誤ってスイッチを押したことにより樹脂製容器が過熱され、焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「燃えやすい物をトッププレートの上に置かない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

3. 「調理家電の事故を防ぐために」気をつけるポイント

○ 調理前に、取扱説明書及び商品パッケージに記載されている注意事項を確認する。

- 調理家電に容器を入れて加熱する際、種類や材質によっては取扱説明書に禁止されているものがあります。

- ・ 電子レンジで卵を加熱すると破裂する事は広く知られていますが、「ゆで卵が入ったおでん」などの煮込み料理でも同様に破裂するおそれがあり、注意が必要です。
- ・ 取扱説明書に定められている油量よりも少ない油で揚げ物調理をすると、温度が急激に上昇し、温度センサーが正確な温度を測ることができなくなり、発火するおそれがあります。

○ 調理中は、その場を離れない。加熱しすぎない。

- ・ 短い時間でも調理中は機器本体から離れないようにし、やむを得ず離れる場合は調理を中断しましょう。
- ・ 電子レンジの場合、水分が少ない食品（パンや芋など）は水分を多く含む食品よりも比較的早く炭化し、スパーク（火花が発生）して発火します。

○ 調理後は、こまめに掃除する。

- ・ 調理家電はこまめに掃除を行ってください。特に電子レンジとオーブントースターで汚れによる事故が目立っています。
- ・ 電子レンジは庫内やドアの内側に食品かすなどの汚れが付着した状態で使用すると、炭化してスパーク（火花が発生）し、発火するおそれがあります。
- ・ オーブントースターは庫内や受け皿に食品かすや油分などの汚れがある状態で使用すると、ヒーターの熱で食品かすや油分などが予期せぬ過加熱となり、発煙や発火のおそれがあります。

○ 過去に発生した事故情報、リコール情報を確認する。

【NITE SAFE-Lite (ナイト セーフ・ライト) のご紹介】

NITE はホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「NITE SAFE-Lite (ナイト セーフ・ライト)」のサービスを行っています。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報やリコール情報を検索することができます。

また、事故事例の【SAFE-Lite 検索キーワード例】で例示されたキーワードで検索することで、類似した事故が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

【消費者庁のリコール情報検索サイトのご紹介】

「消費者庁リコール情報サイト」では、消費者向け商品のリコール情報を掲載しており、キーワードによりリコール情報を検索することができます。さらに、「リコール情報メールサービス」に登録することで、新規のリコール情報等が提供されます。



<https://www.recall.caa.go.jp/>



4. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所(略称:NITE) ナイト

責任者(支所長):高橋 幹男

担当:齋藤(さいとう)、福井(ふくい)、成田(なりた)

電話:022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

nite



YouTube NITE 公式アカウント



X NITE 公式アカウント



Instagram NITE 公式アカウント

